

No.	事業名	担当課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費	内)		効果・検証 ①成果 ②検証
					交付金 充当額	その他 （国県補助金、 一般財源等）	
1	避難所空間安全・安心確保事業	総務課	①避難者が安心して避難生活を送れるよう資機材を整備する。 ②消耗品費、備品購入費 ③避難所	7,215,120	7,215,120		①感染対策資機材を購入し町内13避難所に配布した。 避難所への避難をためらうことなく速やかな避難行動につながっている ②避難所運営において、感染症対策に万全を期するよう引き続き必要な資材を整備していく。
2	自治体テレワーク推進事業	地域振興課	①町役場職員のテレワークの推進のための資機材を整備する。 ②備品購入費 ③役場、出張所	14,095,290	7,047,645	7,047,645	①テレワーク用PC141台購入、感染症拡大防止のため、職員の一部を地域交流センターに移し分散して業務を行った。 ②サテライトオフィスとして機能することにより、感染拡大防止と共に業務継続を行っていく。
3	自治体サテライトオフィス推進事業	地域振興課	①町役場サテライトオフィス推進のための資機材を整備する。 ②消耗品費 ③役場、地域交流センター	75,328	75,328		①テレワーク用PC141台購入、感染症拡大防止のため、職員の一部を地域交流センターに移し分散して業務を行った。 ②サテライトオフィスとして機能することにより、感染拡大防止と共に業務継続を行っていく。
5	ふるさと平生学生応援事業	地域振興課	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けた学生への支援を行う。 ②交付金 ③町出身で町外の大学等の学生	340,000	340,000		①緊急事態宣言等により新型コロナウイルス感染症による影響を受けた学生等を対象に、学生生活の継続維持を支援することを目的として、1人当たり1万円のふるさと平生学生応援事業交付金を34人に交付した。 ②申請者すべてに交付できたが、未申請の者もいるため、継続的な支援を検討する。
6	子育て世帯緊急支援給付金支給事業	町民福祉課	①学校の臨時休業や保育所等の登園自粛要請により影響を受けた子育て世帯に対して支援を行う。 ②交付金 ③児童扶養手当支給対象児童、児童手当支給対象児童	14,620,000	14,620,000		①新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、子育て世帯に対して、緊急的な給付措置として、支給対象児童1,222人に1,462万円を支給した。 ②緊急一時的な措置であるため、継続的な支援を検討する。
7	感染拡大防止対策事業	町民福祉課	①児童関連施設での感染拡大防止策に必要な資機材を整備する。 ②消耗品費、備品購入費 ③保育園、児童館	204,722	204,722		①佐賀保育園、平生中央児童館、平生・佐賀児童クラブで行う感染症防止対策に必要な消毒液、ハンドソープ、非接触体温計等の消耗品を購入した。 施設内での感染がなかった。 ②消毒液などの消耗品は補充等が必要であり継続的な整備を検討する。
8	子どもの食の支援活動補助事業	町民福祉課	①学校の臨時休業に伴う給食休止により、昼食の確保が難しくなった児童生徒に対し、食の支援をする団体に対して支援を行う。 ②補助金 ③社会福祉法人平生町社会福祉協議会	20,831	20,831		①学校の臨時休業に伴い、昼食の確保が難しくなった児童生徒に昼食を支援する社会福祉協議会に、食材の購入費の一部として2万831円を補助した。 こどもたちが食に貧乏することの無いように努めることができた。 ②臨時休業中の一時的な措置であり、こどもの貧困に対する支援が継続して行えるよう検討する。
9	障がい者等福祉サービス事業継続支援事業	町民福祉課	①感染防止対策に細心の注意を払いながら業務に当たっている障がい者（児）サービス事業者に対して支援を行う。 ②補助金 ③障がい者（児）サービス事業者	400,000	400,000		①生活リズムの維持・管理が必要な障がい者（児）のため、事業を継続している障がい者（児）サービス事業者4法人に対して事業継続支援金40万円（1事業者当たり10万円）を支給した。 サービス料金の上昇を抑えることで利用者負担の軽減にもつながっている。 ②コロナ禍における一時的な措置であり継続支援が行えるよう検討する。
10	高齢者等介護保険サービス事業継続支援事業	健康保険課	①新型コロナウイルス感染症防止対策を行い、高齢者の介護等の業務を継続して行っている介護保険サービス事業者（法人）に対して支援を行う。 ②補助金 ③対象事業者（法人）	900,000	900,000		①要介護高齢者等の生活の継続するため、介護等の業務に当たる高齢者施設等を運営する9法人に対して事業継続支援金90万円（1法人当たり10万円）を支給した。 ②コロナ禍における維持的な措置であり継続支援が行えるよう検討する。
11	母子保健事業、予防保健事業及び健康づくり推進事業開催時等の感染予防事業	健康保険課	①新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止していた母子保健事業を再開するにあたり、感染症対策のための資機材を整備する。 ②消耗品費、備品購入費 ③保健センター	1,746,481	1,746,481		①新型コロナウイルス感染症の発生により、延期または中止としていた母子保健事業を再開するにあたり、会場での感染症対策を講じるため、手指消毒液、非接触型体温計、飛沫飛散防止パネル、A Iサーモグラフィを購入した。不織布マスクについては、品薄状態のこともあり備蓄分も購入した。 ②消耗品は、備蓄分も含めて補充が必要なことから継続的な整備を検討する。

No.	事業名	担当課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費	内)		効果・検証 ①成果 ②検証
					交付金 充当額	その他 （国県補助金、 一般財源等）	
12	直売所事業継続支援事業	産業課	①出荷者と来場者の感染予防策としての資機材を整備する。 ②備品購入費 ③特産品センター	430,980	430,980		①安定的な来客の確保、出荷者の保護、感染症予防のため、特産品センター売場へ空気清浄機を設置した。特産品センターでの感染者は出ていない。 ②空気清浄機には耐用年数があるので、今後更新等の支援措置を検討する。
13	廃棄物処理業務継続支援事業	産業課	①廃棄物処理業務の感染予防のための消耗品等の購入を行う。 ②消耗品費 ③一般廃棄物収集事業者	74,100	74,100		①コロナ禍にあっても、町民の生活上廃棄物の処理（ごみ収集）を継続していかなければならないため、ごみ収集を行う事業者が安全に業務にあたれるようゴム手袋、レインコート、消毒液等防疫用具を現物給付した。 収集事業における感染者は0人となった。 ②消耗品等は、補充が必要なことから継続的な支援を検討する。
14	事業再生支援事業	産業課	①売上減少の生じた町内小売業、飲食業、農漁業経営者等に対し支援を行う ②補助金 ③平生町商工会	23,953,000	23,953,000		①コロナ禍の町内事業者の事業継続の下支えのため、前年度対比売上げ減少事業者へ助成金を支給（114件）し、一部事業者には家賃補助（24件）を行うことで、継続経営の支援を行った。 ②感染症拡大による倒産は確認されていないが、継続的な支援を検討する。
15	地域経済応援事業	産業課	①町内飲食店及び小売店で使用可能なプレミアム付商品券を発行し、地域経済の循環を図る。 ②委託料 ③平生町商工会	3,103,653	3,103,653		①地域経済の活性化と町民の消費喚起を目的に、町内飲食店及び小売店で使用可能なプレミアム付商品券を発行した。 使用する店舗が限られていることと、商品券を購入することに対することに対して消極的な状況から購入枚数が伸び悩んだ。 ②流通した商品券はすべて使用されており一定の効果はあった。
16	給食費無償化事業	学校教育課	①学校の臨時休業措置により、経済的負担を強いられている世帯へ支援を行う。 ②負担金 ③町立学校児童生徒の保護者	11,821,209	11,821,209		①町立小中学校の児童生徒の給食費を無償化することで、臨時休業措置で経済的負担を強いられている保護者の経済的負担軽減を行った。 ②臨時交付金を活用した一時的な措置であるため、継続的な支援を検討する。
17	給食室空調設備設置	学校教育課	①臨時休業の補充授業を行うにあたり、施設整備を行う。 ②工事請負費 ③佐賀小学校	1,115,400	1,115,400		①臨時休業の補充授業を従来の夏休み期間に行うため、佐賀小学校の給食調理室に空調設備を増設したことにより、職員の健康管理と食材の適切な温度管理と調理が行え、感染症予防に加え、食中毒等の発生防止にも寄与した。 ②空調機の更新等、今後の維持管理経費を負担することとなるため、継続的な財政措置を検討する。
18	感染症拡大防止のための衛生管理事業	学校教育課	①学校における感染拡大防止のため、資機材を整備する。 ②備品購入費 ③平生小学校	461,450	461,450		①コロナ禍においても休業できない学校において、感染症拡大、予防のために、平生小学校に全自動高圧蒸気滅菌機を1台購入した。児童、教職員の使用する物品を滅菌することにより平生小内での感染を押さえることができた。 ②全てのものが滅菌できるものではないが、今後の維持管理経費を検討する。
19	感染症拡大防止のための衛生管理事業	学校教育課	①学校における感染拡大防止のため、資機材を整備する。 ②消耗品費 ③平生中学校、平生小学校、佐賀小学校	639,533	639,533		①平生小学校、佐賀小学校、平生中学校で行う感染症防止対策に必要な消毒液、ハンドソープ等の消耗品を購入した。 学校における感染がなかった。 ②消毒液などの消耗品は補充等が必要であり継続的な整備を検討する。
20	感染症拡大防止のための衛生管理	学校教育課	①幼稚園内における感染拡大防止のため、資機材を整備する。 ②備品購入費 ③平生幼稚園	170,420	170,420		①平生幼稚園児童の衛生管理強化のため、弁当保存用保冷・保温庫1台購入したことにより、感染症予防に加え、食中毒等の発生防止にも寄与した。 ②今後も必要となるものであるため、維持管理に係る経費など継続的な支援を検討する
22	夏季における学校活動支援事業	学校教育課	①新型コロナウイルス感染症拡大に伴い臨時休業となった期間の代替え措置として夏休みを振り替え授業を行う。 ②臨時職員報酬 ③学校支援員、給食調理員	3,154,302	3,154,302		①臨時休業の補充授業を従来の夏休み期間に行うため、各公立学校の学校支援員、給食調理員を配置することで、子供たちの教育の機会を損なうことなく代替え措置を行った。 学校支援員は14名を30日、給食調理員は11名を18日配置した。 ②臨時休業による代替え措置であるが、再度感染拡大により同様の事態となったときには同様の措置をとれるよう恒久的な仕組み作りを検討する。

No.	事業名	担当課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費			効果・検証 ①成果 ②検証
				内) 交付金 充当額	内) その他 (国県補助金、 一般財源等)		
23	図書館パワーアップ事業	社会教育課	①コロナ禍においても、安心して図書館を利用してもらうための資機材を整備する。 ②消耗品費、備品購入費 ③図書館	8,309,053	8,309,053		①感染症拡大予防のために図書除菌機を購入し、安心して読書ができる環境づくりを行うことにより、コロナ禍により在宅時間を有意義に過ごし、外出抑制にもつながった。 蔵書の増加、書架も増設することで、滞在時間を短くし感染症拡大の予防にもつながった。 ②読書習慣により、多様な過ごし方ができ、コロナ禍による生活ストレスの軽減につながっている。
24	感染症予防体制強化事業	健康保険課	①新型コロナウイルス感染症の感染症予防策等を講じるため、休日や夜間に勤務した人件費を支給する。 ②職員時間外勤務手当 ③町職員	1,154,183	1,143,190	10,993	①臨時交付金から、職員の時間外勤務手当を捻出し感染症予防対応業務することで、感染症予防体制強化を行うことができた。 ②勤務時間の長時間化から職員負担が増大している。また、恒久財源ではないため今後の財源措置を検討する。
25	感染症対策環境整備事業	学校教育課	①学校内の感染症対策に必要な備品を購入する。 ②備品購入費 ③町内小中学校・幼稚園	269,720	269,720		①学校、幼稚園内の感染症拡大予防のために、大型扇風機を購入し配置したことにより、学校、幼稚園内での感染がなかった。 ②1台当たりの購入単価は大きいですが、一定の効果があることから今後の維持管理経費を検討する。
26	空調設備設置事業	学校教育課	①学校内での、感染リスクを低減するための設備改修を行う。 ②修繕費 ③佐賀小学校	19,719,600	19,719,600		①臨時休業の補充授業を従来の夏休み期間に行うため、佐賀小学校の特別教室等に空調設備を設置した。 ②補充授業期間中の感染者が出ていないため一定の効果はあることから今後の維持管理経費を検討する。
27	手洗い場蛇口取替事業	学校教育課	①学校内での、感染リスクを低減するための設備改修を行う。 ②修繕費 ③町内小中学校・幼稚園	1,903,000	1,903,000		①感染リスクを減少させるため、小学校、中学校、幼稚園の手洗い場の蛇口の取手を手回し式からレバー式に交換した。 ②学校、幼稚園での感染拡大がないことから一定の効果があった。
28	遠隔・オンライン学習の環境整備事業	学校教育課	①新型コロナ感染症拡大による休業措置に備え、家庭等でのICTを活用した学習環境の整備を行う。 ②備品購入費 ③町内小中学校	3,845,661	3,710,661	135,000	①学校の休業期間中も家庭で学習が継続できるようICT関係の備品（モバイルルーター、端末等）を購入した。 ②環境整備後に休業となっていないため、今後の維持管理に係る経費を検討する。
29	社会教育施設・社会体育施設及び各施設の行事開催時の感染拡大防止対策事業	社会教育課	①社会教育・社会体育施設及び各施設の行事開催時の感染防止対策のための資器材の購入と密閉空間の回避のための施設改修を行う。 ②消耗品費、工事請負費、備品購入費 ③社会教育施設及び社会体育施設	2,039,460	2,039,460		①各施設の感染症対策のために消毒液、マスク、非接触型体温計、大型扇風機等を購入し、感染対策として各施設に網戸を設置した。 ②消毒液などの消耗品は補充等が必要であり継続的な整備を検討する。
30	医療機関等事業継続応援給付金事業	健康保険課	①新型コロナウイルス感染症の発生により患者等が受診を控えたことで、経営に影響が出ている医療機関の負担を軽減し、医療提供体制の継続及び維持を図るため応援給付金を支給する。 ②給付金 ③町内医療機関	7,450,000	7,450,000		①緊急事態宣言が発令され外出自粛の要請等接触機会の低減による受診控えにより影響を受けた町内の病院（1施設）一般診療所（7施設）歯科診療所（4施設）調剤薬局（7施設）に対して事業を継続するための給付金（25万円～100万円）を給付した。 ②施設の閉鎖（閉業）は0件であり、すべて事業所が継続されていることから一定の効果があったものと考えられる。
31	カンガルーノひらお妊婦応援給付金事業	健康保険課	①新型コロナウイルス感染症の感染が収束していない中、産前産後に不安を抱える妊婦や産婦に安心して出産・育児ができるよう応援給付金を支給する。 ②給付金 ③妊婦及び産婦	8,400,000	8,400,000		①新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中、育児や出産に不安を抱えている妊産婦に対し、1人当たり10万円の給付金を84人に給付した。 ②今後継続的な支援を検討する。
32	新しい生活様式を踏まえた保健センター環境整備事業	健康保険課	①町保健センターで行事等実施する際の密閉空間防止対策を講じるため、施設改修を行う。 ②工事請負費 ③保健センター	1,795,200	1,795,200		①緊急事態宣言解除後に、保健センターで行う行事等の際、こまめな手洗い、手指消毒や3密（密閉・密集・密接）を避けて感染拡大を予防する「新しい生活様式」を実践するため、保健センター集団指導室等の窓に網戸を設置した。 ②感染は確認されておらず一定の効果はあった。

No.	事業名	担当課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費	内)		効果・検証 ①成果 ②検証
					交付金 充当額	その他 （国県補助金、 一般財源等）	
33	介護保険サービス事業所等環境整備補助金事業	健康保険課	①新しい生活様式を踏まえ介護保険サービス事業所等が行う感染症防止策等の環境整備に対し補助金を交付する。 ②補助金 ③町内介護保険サービス事業所を運営する法人	1,696,008	1,696,008		①町内において介護保険サービス事業所（法人）に、感染症防止策や3密対策などの「新しい生活様式」を踏まえた環境整備を行ってもらうため、9法人に対して計169万6,000円の補助を行った。 ②感染が確認されておらず一定の効果があった。
34	移住・定住パンフレット作成事業	地域振興課	①感染拡大の恐れがある都市部から地方へ移住される方への情報提供 ②委託料 ③移住希望者等	1,200,100	1,200,100		①感染拡大の恐れがある都市部から地方へ移住される方への情報提供のため、移住・定住パンフレット（本編・概要版・チラシ）をそれぞれ2,000部作成し、移住・定住の関係部署等に配布した。 ②今後は、イベント等での配布も行い、都市部からの移住・定住を促進する。
35	オンライン会議用機器等整備事業	地域振興課	①「新しい生活様式」を実践（オンライン会議、配信等の実施）するための機材を購入する。 ②備品購入費 ③役場庁舎	2,299,770	2,299,770		①役場内での「新しい生活様式」の実践のため、オンライン会議や配信等に使用できるマイクやWEBカメラ機材、モニター等を購入した。 ②コロナ禍において、ほぼすべての会議が対面ではなくオンラインで行われたため活用できた。
37	支援策広報事業	地域振興課	①国・県・町がそれぞれ行っている新型コロナウイルス感染症支援策の概要をまとめ周知を行う。 ②印刷製本費 ③町民	181,500	181,500		①新型コロナウイルス感染症に関する国や県及び町が実施する経済的な支援制度の概要をまとめた新型コロナウイルス感染症支援制度のチラシを5,500部発行した。 ②町内全戸に配布したため町民への周知ができた。
38	地域交流センター改修工事	地域振興課	①地域交流センターにおける密閉・感染の回避のために施設改修を行う。 ②修繕料 ③地域交流センター	1,615,900	1,615,900		①各地域交流センターにおける密閉・感染の回避として、地域交流センター6施設で網戸設置を60か所、また感染防止のため地域交流センター8施設で水栓ハンドルをレバー式へ58か所改修した。 ②交流センターでの感染が確認されておらず一定の効果があった。
39	地域交流センター換気機材整備	地域振興課	①地域交流センターにおける感染の回避のための危機の購入、設置を行う。 ②備品購入費 ③地域交流センター	692,120	692,120		①各地域交流センターにおける感染の回避として、換気のためのサーキュレーター22台を購入した。 ②交流センターでの感染が確認されておらず一定の効果があった。
40	敬老事業	町民福祉課	①中止となった敬老会の代替え措置として、敬老会対象者に町内及び近隣の商店等で使用できる商品券を配布し、高齢者に敬老の意を表するとともに地域経済の活性化を図る。 ②役員費、需用費 ③敬老会対象者	5,413,895	5,413,895		①新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から3密を避けるために敬老会を中止し、代替措置として、敬老会対象者（2,418人）に町内及び近隣の商店等で使用できる商品券（2千円）を配布した。 ②対象者全てに配布することができたが、単年度措置であり継続的な事業を検討する。
41	保育園施設整備事業	町民福祉課	①公立保育所における新しい生活様式に対応するための施設整備を行う。 ②修繕料 ③佐賀保育園	358,600	358,600		①佐賀保育園における「新しい生活様式」に対応するため、乳児室の換気対策として窓を取り付けた。 ②佐賀保育園の乳児の感染が確認されておらず一定の効果があった。
42	法人保育園換気設備整備事業	町民福祉課	①法人保育園における新しい生活様式に対応するための施設整備を行う。 ②補助金 ③ひらお保育園、つばさ保育園	2,000,000	2,000,000		①法人保育園（2か所）に「新しい生活様式」に対応するための換気対策等を行う費用に対して補助金を交付した。 ②保育園での感染が確認されておらず一定の効果があった。
43	法人保育園水道設備整備事業	町民福祉課	①法人保育園における新しい生活様式に対応するための施設整備を行う。 ②修繕料 ③つばさ保育園	368,280	368,280		①法人保育園（1か所）に「新しい生活様式」に対応するための水道の蛇口（22か所）の取替え費用に対して補助金を交付した。 ②保育園での感染が確認されておらず一定の効果があった。

No.	事業名	担当課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費	内)		効果・検証 ①成果 ②検証
					交付金 充当額	その他 （国県補助金、 一般財源等）	
44	町内事業所支援事業	産業課	①売上減少の生じた町内事業所に対し経営支援を行う ②助成金 ③平生町商工会	5,678,000	5,678,000		①コロナ禍で売り上げ減少など影響のあった町内事業者の事業を継続するための助成金（28件）を支給した。 ②コロナ感染症拡大による倒産は確認されておらず全ての事業者が事業を継続している。
45	町内観光PR事業	産業課	①観光客の減少した町内観光地に再度賑わいを創出するため、地方局のTVCMを行う。 ②委託料 ③KRY山口放送	440,000	440,000		①コロナ禍にあっても平生町の元気を町内外に発信するため、町の観光コマーシャルを民放局で放映した。（TVCM30秒 20本放映） ②町民からもCMを見たとの声が届いており一定の効果があったと考える。
46	社会生活維持業務 応援給付金	産業課	①一般廃棄物収集運搬業務及び斎場の管理業務を行う事業者に対し給付金を支給を行う。 ②給付金 ③熊南総合事務組合、し尿収集事業者	850,000	850,000		①コロナ禍にあっても、事業を継続しなければならない廃棄物収集処理事業者、し尿収集事業者、斎苑に助成金を支給した。 ②事業が継続して行われており一定の効果があると考ええる。
47	リモート産業まつり 開催事業	産業課	①平生町の産業活性化のため、町内事業者のPR動画を作成する。 ②補助金 ③産業まつり実行委員会	2,555,000	2,555,000		①平生町の産業活性化のため、町内事業者のPR動画を作成し、オンラインで産業まつりを開催する事業費を補助した。 ②対面による感染症拡大を予防できたため一定の効果があったと考える。
49	ゴミ捨てマニュアル 更新事業	産業課	①感染症対策を盛り込んだ家庭でのゴミの捨て方マニュアルを作成する。 ②負担金 ③熊南総合事務組合	572,000	572,000		①感染症対策を盛り込んだ家庭でのゴミの捨て方マニュアルを8,000部作成する経費を負担した。 ②感染症に対する不安を覚える町民に啓発を含めて周知することができた。
50	斎場改修事業	産業課	①感染症対策のため、斎場の電灯スイッチ及び蛇口の改修を行う ②負担金 ③熊南総合事務組合	224,125	224,125		①田布施・平生合同斎苑の感染症対策として電灯スイッチ及び蛇口の改修を行った。 ②斎苑利用の際に感染症が確認されておらず一定の効果があったと考える。
51	消毒液・消毒用動 噴購入	産業課	①感染者が出た場合に早期対応を行うための機器の購入を行う ②消耗品費、備品購入費 ③町所管施設及び一般廃棄物収集場所及び設備	275,338	275,338		①公共施設等において感染者が出た場合の防疫措置を行うための消毒液、動力噴霧器を購入した。 ②使用実績はないがもしもの時への備えとして必要なものと考ええる。
52	ハートピアセン ター網戸設置	産業課	①特産品開発等を行う施設の、密閉空間での利用を避けるための改修を行う。 ②工事請負費 ③ハートピアセンター	402,600	402,600		①ハートピアセンターにて農漁業者による特産品開発等を行う際に密閉空間での利用を避けるため網戸を設置した。 ②ハートピアセンターでの感染が確認されておらず一定の効果があった。
53	避難所空間安全・ 安心確保事業	総務課	①指定避難所における感染機会の削減に向けて、指定避難所で使用する物品を購入する。 ②消耗品費、備品購入費 ④指定避難所	5,976,300	5,976,300		①指定避難所における感染症発生を予防するため、段ボールベッド100台、パーティションテント150張、災害用プライベートテント8張、災害用トイレ1200回分、災害用トイレトペーパー120ロールを購入した。 ②災害が発生せず使用するに至らなかったが備えとしては必要なものと考ええる。
55	自治体テレワーク 推進事業	総務課	①紙文書の電子化による町役場職員のテレワークを推進する。 ②人件費、備品購入費 ③役場庁舎	2,243,238	2,243,238		①ペーパーレス化により感染症拡大時におけるテレワーク等が行えるように、スキャナーを購入し文書を電子化した。 ②文書の電子化は感染症拡大とは直接の関係がないが必要な措置と考える。

No.	事業名	担当課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費	内)		効果・検証 ①成果 ②検証
					交付金 充当額	その他 （国県補助金、 一般財源等）	
56	感染症予防体制強化事業	総務課	①役場庁舎における感染機会の削減し、町民が安心して来庁できるよう感染予防対策物品、衛生用品を購入する。 ②消耗品費 ③役場庁舎・各公共施設	780,223	780,223		①役場庁舎内での感染症予防として、対面用アクリルパーテーション90組、ハンドソープや消毒液は補充用も確保し、手指消毒用には非接触対応足踏み式スタンド計30台を購入し、庁舎以外の主要施設へも設置した。本庁のほか各公共施設出入口へ計10台の検温機能付き顔認証端末を設置した。 ②コロナ禍においても行政手続等業務を継続させ来庁者の感染予防にも努めることができた。
58	子ども・子育て支援交付金	町民福祉課	①小学校の臨時休業期間中に、児童クラブを開所するための人材を確保する。保護者に利用自粛をさせた場合の日割り利用料を返還する。 ②人件費、還付金 ③平生児童クラブ、佐賀児童クラブ	374,600	124,000	250,600	①学校の臨時休業時に児童クラブを開所し、保護者の育児負担軽減を行い、利用自粛した児童保護者に対して利用料の減免を行った。 ②子育て世帯の負担軽減となっており一定の効果があった。
59	学校保健特別対策事業費補助金	学校教育課	①コロナ禍において、学校教育活動の再開を支援する経費を補助する。 ②消耗品費、備品購入費 ③町内小学校：2、中学校：1	3,500,000	1,750,000	1,750,000	①平生小学校、佐賀小学校、平生中学校の3校が、感染症対策等を徹底しながら学校教育活動を再開するための消毒液等の購入等に係る経費を補助した。 ②休業後、各学校において感染が確認されておらず効果があったと考える。
60	公立学校情報機器整備費補助金	学校教育課	①コロナ禍において、中学生の外国語を使用したコミュニケーション能力の育成を図るためICT活用のサポートを行なう。 ②委託料 ③平生中学校	2,420,000	1,210,000	1,210,000	①コロナ禍においても、英語の使用機会の拡充や生徒のコミュニケーション能力の向上のために、遠隔地とインターネット接続により授業を行った。 ②感染症拡大期においても学習機会を継続して生徒に与えることができた。
62	学校臨時休業対策費補助金	学校教育課	①新型コロナ感染症拡大に伴う学校の臨時休業時の学校給食休止に係る学校給食費を返還等の経費を支援する ②手数料、償還金 ③町内小学校：2、中学校：1 給食用パン、牛乳等の食材納入業者	291,997	73,997	218,000	①学校の臨時休業期の学校給食費を保護者に対して返還し、既に発注していた食材にかかる違約金を支払った。 ②児童生徒の保護者の経済的負担軽減と事業者保護ができ一定の効果があった。
63	障害者総合支援事業費補助金	町民福祉課	①特別支援学校等の臨時休業に伴い、利用が増加した放課後等デイサービスの利用者負担金（増加分）を補助する。 ②補助金 ③放課後等デイサービス事業所9カ所	49,000	872	48,128	①特別支援学校等の臨時休業により増加した放課後等デイサービスの利用者27人分の負担の増加分を補助し保護者の負担軽減を行った。 ②事業所での感染症が確認されておらず利用量増加による感染拡大はなかったと考える。
64	感染症予防体制強化事業	総務課	①施設入口で入場者の簡易検温を行うことで、施設内における感染リスク軽減・感染抑止力向上につなげる ②備品購入費 ③役場庁舎・各公共施設	2,620,728	2,620,728		①公共施設での感染症拡大予防策として、検温機能付き顔認証端末10台を購入し設置した。 ②役場、及び各公共施設における感染が確認されておらず一定の効果があったと考える。
66	高齢者お出かけ支援事業	健康保険課	①コロナ禍で、移動手段のない一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の、買い物や通院等の移動を支援する住民団体に車両を貸与し、高齢者の外出の機会を創出する。 ②車両購入費 ③町内の一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯	2,643,686	2,643,686		①単身の高齢者等の買い物や通院等の移動支援を行うため、車両(1台)を購入し、地域ボランティアによる「お出かけ支援事業」を実施した。 ②コロナ禍においても安心して外出できるよう支援できたため一定の効果があったと考える。
67	感染症対策環境整備事業	学校教育課	①校内の感染症対策に必要な備品を整備する。 ②備品購入費 ③町内小中学校・幼稚園	4,573,866	4,573,866		①町内の学校、幼稚園での感染症対策として、検温機能付顔認証端末9台、非接触型体温計14個、返却図書除菌機3台、簡易型検温スクリーニング器40台、手洗鉢2個、三つ折ベッド1台、冷凍冷蔵庫1台を購入した。 ②学校、幼稚園での感染が確認されておらず一定の効果があったと考える。
68	遠隔・オンライン学習の環境整備事業	学校教育課	①新型コロナ感染症拡大による休業措置に備え、家庭等でのICTを活用した学習環境の整備を行う。 ②備品購入費 ③小中学校	2,240,106	2,240,106		①次の休業措置に備え、Webカメラ等ICT機器一式、指導者用デジタル教科書を購入した。 ②学校内での感染は確認されておらず一定の効果があったと考える。

No.	事業名	担当課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費	内)		効果・検証 ①成果 ②検証
					交付金 充当額	その他 （国県補助金、 一般財源等）	
69	図書館空調整備	社会教育課	①コロナ禍においても、安心して図書館を利用してもらうための施設改修を行う。 ②工事請負費 ③平生図書館	2,016,300	2,016,300		①コロナ禍においても、安心して図書館を利用してもらうため空調機2台を改修した。 ②図書館において感染症が確認されておらず一定の効果があったと考える。
70	修学旅行等キャンセル料支援事業	学校教育課	①新型コロナ感染症拡大に伴い修学旅行等のキャンセル料を負担する。 ②負担金 ③平生中学校	303,300	303,300		①感染拡大によりキャンセルとなった平生中学校の修学旅行のキャンセル料を支払った。 ②急遽キャンセルとなったが、保護者の経済的負担を軽減できた。